

**製品名: WNT10B マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80777**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	43kDa

**抗原情報**

遺伝子名	WNT10B
別名	SHFM6; WNT-12
遺伝子 ID	7480.0
SwissProt ID	O00744
免疫原	大腸菌で発現したヒト WNT10B の精製された組み換え断片。

**背景**

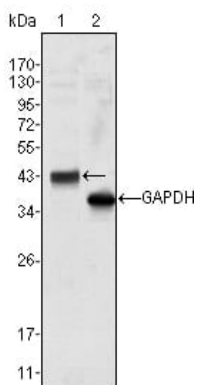
WNT10B: ウィングレス型 MMTV 統合部位ファミリー、メンバー 10B。WNT ファミリーは、構造的に類似した分泌シグナル伝達タンパク質から構成されています。これらのタンパク質は、腫瘍形成や、胚発生における細胞運命やパターン形成の調節など、いくつ

かの発生過程に関与していることが示唆されています。WNT10BはWNT遺伝子ファミリーのメンバーです。乳がんに関与している可能性があり、そのタンパク質シグナル伝達は脂肪形成を制御する分子スイッチであると考えられます。このタンパク質は、マウスWnt10Bタンパク質とアミノ酸レベルで96%同一です。WNT10B遺伝子は、染色体12q13領域において、別のファミリーメンバーであるWNT1とクラスターを形成しています。

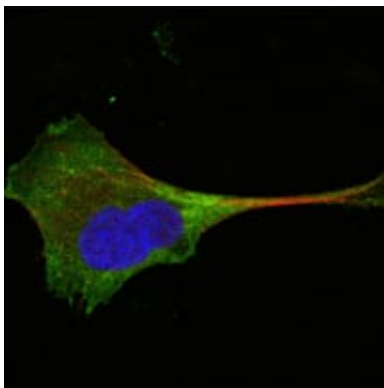
## 研究分野

Wntシグナル伝達経路

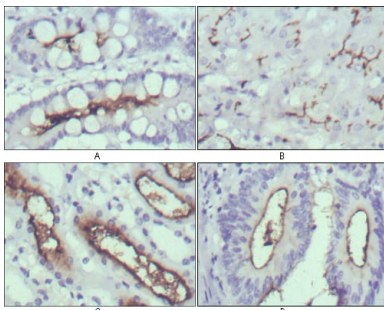
## 画像データ



Hela細胞溶解物に対するWNT10BマウスmAbを用いたウエスタンブロット解析(1)。



WNT10BマウスmAb(緑)を用いたPANC-1細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤:アクチンフィラメントをAlexa Fluor-555ファロイジンで標識。青: DRAQ5 蛍光DNA色素。



WNT10BマウスmAbとDAB染色を使用した、パラフィン包埋ヒト正常胃(A)、正常肝臓(B)、正常腎臓(C)、および直腸癌組織(D)の免疫組織化学分析。